

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあっては名称) みのる化成株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒709-0892 赤磐市下市388-1	
本票作成	部署名：技術開発部 生産技術G				
主たる業種	分類コード	18	業種名：プラスチック製品製造業（別掲を除く）		
事業の概要	プラスチック製品の開発・設計・製造・販売				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	岡山工場		赤磐市下市388-1	
	②	鉄工場		岡山市東区鉄105	
	③	クリーンパックス工場		赤磐市正崎816-1	
	④	牟佐工場		岡山市北区牟佐503	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 4 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

計画期間	令和 2 年度 ~ 令和 6 年度 (5 箇年度)								
削減目標	いずれかを選択	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	目標削減率 5.0 %	目標区分	20%以上	20~15%	15~10%	10~5%	5%未満
		<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準						○	
温室効果ガス排出量	基準年度 (令和 元 年度)			目標年度 (令和 6 年度)					
	13,528 t CO ₂			12,851 t CO ₂					
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		基準年度 (令和 元 年度) の排出量					
	①	岡山工場		8,268 t CO ₂					
	②	鉄工場		2,894 t CO ₂					
	③	クリーンパックス工場		1,563 t CO ₂					
	④	牟佐工場		801 t CO ₂					
				t CO ₂					

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 使用樹脂量	原単位当たり排出量	
		基準年度	目標年度
		2.206 t CO ₂ / (t)	2.096 t CO ₂ / (t)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (令和 元 年度)	達成率 (%)
指標の状況				

【目標削減率設定の基本的な考え方】

生産効率の向上、高効率設備の導入などにより、省エネ法に基づく年1%以上の温室効果ガス排出削減に取り組む。

【目標削減率達成のための推進体制】

- ・省エネ法に基づくエネルギー管理者を中心としたエネルギー管理体制を整備。
- ・ISO14001に基づき、工場責任者をトップとした環境管理体制のもと、環境改善を推進。

【排出量削減のためのこれまでの主な取組】

工場等の名称	取組内容
全体	・生產品の不良率低減、工場内圧縮エアの漏えい低減。
クリーンパックス工場	・成形機 油圧式→電動式へ更新(5台更新)

【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】

工場等の名称	措置内容
全体	・社用車更新の際に低燃費車を導入
岡山工場	・照明設備を高効率ランプに更新 ・ドレン回収システムの導入。 ・冷却水設備を更新

【森林保全等吸収源対策への取組計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

- ・温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値：売上金額（千円）から使用樹脂量（t）に変更（変更理由）

当社は、プラスチック製品のトータルカンパニーとして、自動車部品や一般資材等の部品生産を主に生産しておりましたが、近年は、部品生産のみではなく、簡易トイレやスタジアムシートといった、副資材等を組付けた完成品も生産するようになり、製品の原価構成の内、動力費比率が大きく変動してきました。そのため、売り上げ金額を原単位として評価しておりましたが、エネルギー指標として精度が好ましくない状況になってきております。再度、最適原単位指標を検討した結果、電力は、主にプラスチック樹脂を熔融するために使用されているため、使用樹脂量を原単位とすることにより、省エネルギー効果を正確に把握できると考えました。